

令和7年4月23日

(公財)日本中学校体育連盟  
柔道競技部ブロック長の皆様  
都道府県柔道競技部専門委員長の皆様

(公財)日本中学校体育連盟柔道競技部  
部長 神谷 兼正  
(公印省略)

## 2025-2028 国際柔道連盟審判規程の適用について(通知)

拝啓 早春の候、時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は日本中学校体育連盟柔道競技部の活動に際しましてご支援ご協力を賜り、誠に有り難うございます。

さて、全日本柔道連盟主催の国内大会は、令和7年4月より「2025-2028 国際柔道連盟審判規程」の適用となりますが、全国中学校柔道大会についても「2025-2028 国際柔道連盟審判規程」を軸に、国内における「少年大会特別規程」及び「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」を適用して運営することになっています。下記に留意点をまとめましたので、各都道府県関係各位にご周知いただきますよう、お願い申し上げます。また、「正しい柔道」の在り方、及び、「発育発達段階」である中学生への安全を最優先した大会運営をお願いいたします。

敬具

記

### 「2025-2028 国際柔道連盟審判規程」留意点

- ① 技の判定について、「有効」 ※新ルール適用
- ② 場外に出る行為 ※新ルール適用  
例として次の行為は「指導」 ①立ち技で組まないで場外にでる。 ②寝技ではって場外にでる。  
なお、試合場の広さ、周囲の状況を考慮し、各都道府県の大会申し合わせ事項で適宜対応すること。

### 「少年大会特別審判規程」留意点

- ① 逆背負投(通称) → 「待て、指導」 ※旧ルール通り
- ② 立ち姿勢において、相手の上衣の袖の中に指を入れて組み手を取った場合  
→直ちに「待て、指導」を適用 ※旧ルール通り
- ③ 寝姿勢において、相手の袖・下履きの裾の中に指を入れた場合  
→直ちに「待て、指導」を適用 ※旧ルール通り

### 「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」

- ① ダイビング(通称) → 「反則負け」 ※旧ルール通り
- ② ユージングザヘッド(通称) → 「待て、指導」 ※新ルール適用
- ③ ヘッドディフェンス(通称) → 「待て、指導」 ※新ルール適用  
但し、「ブリッジ」は従来通り、「一本」とする。

以上